

## いじめ対策シンポで考える

## ヤンキー先生や親らトーク

いじめ撲滅の方策を考え  
る「いじめから子供を守る  
う 鹿児島シンポジウム」

が11日、鹿児島市山下町の  
県民交流センターであつ  
た。「ヤンキー先生」こと  
義家弘介・衆議院議員らに

よるパネルトークがあり、  
訪れた人たちは熱心にメモ  
を取っていた。

一般財団法人「いじめか  
ら子供を守るう！ネットワ  
ーク」(井澤一明代表)が  
主催した。パネルトークで

は「いじめを撲滅するため  
には」をテーマに、義家さ  
んのほか、県内の教諭ら計  
5人が参加。いじめに関す  
る体験談や思いを語った。

中学生の娘がいじめから  
不登校を経験したという母  
親は「教師に相談したが、  
『加害者の話を聞く』旨の  
回答をされ、結局うやむや  
にされてしまった」と不信  
感を述べた。

小学校の女性教諭は「被  
害者が男児の場合、自分で  
は被害を簡単に認めないケ  
ースが多い。周囲の友人か  
らも話を聞き、小さな変化  
も見逃さないことでいじめ  
を発見することが大事だ」  
と語った。

最後に義家さんは「いじ  
めが問題になり始めるのは  
小学3、4年生が多い。こ  
の時期の対応が大切。各先  
生が、子どもたちは未熟な  
存在であることを認識し、  
守るべきものを教えるべき

だ」と強調した。

国の緊急調査では、県内  
で昨年4～9月に確認され  
たいじめは、小学校と中学  
校で約2万7500件。高  
校なども含めた1千人あた  
りでは159・5件と全国  
トップだった。このこと  
について、この日のシンポで  
は「小さなことでも見逃さ  
ない姿勢の表れで、きちん  
と公表したことは評価でき  
る」という意見が出た。

「いじめから子供を守る  
う！ネットワーク」(03・  
5719・2170)は、  
いじめについて無料相談を  
受け付けている。